

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 2 月 6 日(2024.2.6)

【公開番号】 特開 2022-144606(P2022-144606A)
【公開日】 令和 4 年 10 月 3 日(2022.10.3)
【年通号数】 公開公報(特許)2022-181
【出願番号】 特願 2021-45681(P2021-45681)
【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16(2006.01)
H 0 4 N 7/18(2006.01)
H 0 4 N 23/45(2023.01)
H 0 4 N 23/60(2023.01)
H 0 4 N 23/63(2023.01)
G 0 6 T 7/00(2017.01)
B 6 0 R 1/00(2022.01)

10

【F I】

G 0 8 G 1/16 C
H 0 4 N 7/18 J
H 0 4 N 5/225800
H 0 4 N 5/232290
H 0 4 N 5/232930
G 0 6 T 7/00 650B
B 6 0 R 1/00 A

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 1 月 29 日(2024.1.29)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

車両の進行方向を撮影する遠赤外線カメラが撮影した第 1 映像を取得する第 1 映像取得部と、

前記遠赤外線カメラと一致する方向を撮影する可視光カメラが撮影した第 2 映像を取得する第 2 映像取得部と、

前記第 1 映像取得部が取得した第 1 映像から、前記車両の運転者に対して警告対象となるオブジェクトを検出する検出部と、

40

前記車両の周囲の照度が低いときに、前記検出部が前記第 1 映像から警告対象となるオブジェクトを検出した場合、前記第 1 映像において検出したオブジェクトを示す範囲である第 1 オブジェクト範囲を特定するとともに、第 1 オブジェクト範囲に対応する第 2 映像における第 2 オブジェクト範囲を特定する範囲特定部と、

前記第 2 オブジェクト範囲を描画した第 2 映像を前記車両の運転者が目視可能な表示部に表示させる表示制御部と、

を有する警告装置。

【請求項 2】

前記表示制御部は、検出したオブジェクトに基づく警告を行う期間、前記第 2 オブジェクト範囲を描画した第 2 映像を前記表示部に表示させる、

50

請求項 1 に記載の警告装置。

【請求項 3】

前記車両の運転者の視線の向きを検出する視線検出部をさらに有し、

前記表示制御部は、前記検出部が警告対象となるオブジェクトを検出した場合、前記第 1 オブジェクト範囲を描画した前記第 1 映像を前記表示部に表示させ、前記検出部が警告対象となるオブジェクトを検出した場合、且つ、前記車両の運転者が前記表示部を所定時間以上見た場合、または見返した場合、前記第 2 オブジェクト範囲を描画した第 2 映像を表示させる、

請求項 1 に記載の警告装置。

【請求項 4】

前記表示制御部は、彩度またはコントラストを低下させた第 2 映像に前記第 2 オブジェクト範囲を描画させて前記表示部に表示させる、

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の警告装置。

【請求項 5】

車両の進行方向を撮影する遠赤外線カメラが撮影した第 1 映像を取得する第 1 映像取得ステップと、

前記遠赤外線カメラと一致する方向を撮影する可視光カメラが撮影した第 2 映像を取得する第 2 映像取得ステップと、

取得した第 1 映像から、前記車両の運転者に対して警告対象となるオブジェクトを検出する検出ステップと、

前記車両の周囲の照度が低いときに、前記第 1 映像から警告対象となるオブジェクトを検出した場合、前記第 1 映像において検出したオブジェクトを示す範囲である第 1 オブジェクト範囲を特定するとともに、第 1 オブジェクト範囲に対応する第 2 映像における第 2 オブジェクト範囲を特定する範囲特定ステップと、

前記第 2 オブジェクト範囲を描画した第 2 映像を前記車両の運転者が目視可能な表示部に表示させる表示ステップと、

を警告装置が実行する警告方法。

10

20

30

40

50